

歯科技工士が消え、 歯科医師が技工士になる日

講師 飯塚 哲夫 先生

1995年(平成7年)には全国に72校あった歯科技工士学校が、2018年(平成30年)には47校になり、そのすべての学校で、入学者は定員をはるかに下回っています。そしてそれらの学校の卒業生の約80%は、卒業後5年以内に歯科技工士を辞めて転職しています。歯科技工士という職業は魅力のない職業だからです。近い将来、歯科技工士はおそらく消えてしまうでしょう。そのとき、歯科技工業務は、歯科医師がせざるを得なくなります。それは、歯科技工士が消え、歯科医師が技工士になる日の到来です。歯科界が現状のままなら、その日は確実に到来します。

しかし歯科技工士の業務内容を見直し、歯科医師と歯科技工士との関係を見直すと、歯科技工士は魅力ある職業になり、歯科技工士を目指す若者は間違いなく増えます。歯科技工士会や歯科技工士学校は一刻も早くその方向へ向かって動き出すべきです。それは歯科医師にとっても必要なことです。

この講演では、歯科技工士だけではなく歯科医師にとっても、このような問題を考えるための多くのヒントが得られるはずです。

2021年近代口腔科学研究会新年講演会 実行委員長 朝田 文郷

- 日 時:2021年1月10日(日) 午後1:00~4:00(受付午後12:30から)
- 会 場:ホテル・メトロポリタンエドモント 2F「悠久の間」
〒102-8130 東京都千代田区飯田橋3-10-8 TEL.03-3237-1111(代表)
- 講 師:飯塚 哲夫 先生
- 会 費:歯科医師15,000円 スタッフ・その他8,000円(当日会場で納入)
- 申 込 先:近代口腔科学研究会事務局
〒362-0034 埼玉県上尾市愛宕1-3-2 TEL・FAX.048-773-9795 E-mail sesm@nifty.com
- 申込方法:下記申込書に必要事項を記入の上、きりとり線から切り離し、FAXまたは郵便でお申込みください。
電話、E-mailでも受付けます。